

「四川大地震」3年余で復興



出口 俊一氏 DND研究所(埼玉)代表

1953年生まれ。大学発ベンチャー起業支援サイト運営。金沢工業大学客員教授兼任
認定NPO法人「日本政治総合研究所」(白鳥令理事長)の視察で被災現場を訪ねた。広大な山岳地帯の崩落による二次災害の危うさの中、復興のスピード感は驚きであった。
まず、四川省都江堰市に入った。震災当時、街の八割四十五万七千人が被災した。成都市から車で約一時間、約六十キロ北西にある「震災陳列館」に寄った。震災の状況から救援、救出の艱難辛苦の様子がパネルや映像で紹介されていた。一角にあった「ペン握ったままの女子学生の写真」の前で足が止まった。授業中に災難にあったのだろうか。

「四川大地震」の復興は、発生から三年余りで当初計画を達成していた。八月下旬に認定NPO法人「日本政治総合研究所」(白鳥令理事長)の視察で被災現場を訪ねた。広大な山岳地帯の崩落による二次災害の危うさの中、復興のスピード感は驚きであった。
まず、四川省都江堰市に入った。震災当時、街の八割四十五万七千人が被災した。成都市から車で約一時間、約六十キロ北西にある「震災陳列館」に寄った。震災の状況から救援、救出の艱難辛苦の様子がパネルや映像で紹介されていた。一角にあった「ペン握ったままの女子学生の写真」の前で足が止まった。授業中に災難にあったのだろうか。

「四川大地震」の復興は、発生から三年余りで当初計画を達成していた。八月下旬に認定NPO法人「日本政治総合研究所」(白鳥令理事長)の視察で被災現場を訪ねた。広大な山岳地帯の崩落による二次災害の危うさの中、復興のスピード感は驚きであった。
まず、四川省都江堰市に入った。震災当時、街の八割四十五万七千人が被災した。成都市から車で約一時間、約六十キロ北西にある「震災陳列館」に寄った。震災の状況から救援、救出の艱難辛苦の様子がパネルや映像で紹介されていた。一角にあった「ペン握ったままの女子学生の写真」の前で足が止まった。授業中に災難にあったのだろうか。

「四川大地震」の復興は、発生から三年余りで当初計画を達成していた。八月下旬に認定NPO法人「日本政治総合研究所」(白鳥令理事長)の視察で被災現場を訪ねた。広大な山岳地帯の崩落による二次災害の危うさの中、復興のスピード感は驚きであった。
まず、四川省都江堰市に入った。震災当時、街の八割四十五万七千人が被災した。成都市から車で約一時間、約六十キロ北西にある「震災陳列館」に寄った。震災の状況から救援、救出の艱難辛苦の様子がパネルや映像で紹介されていた。一角にあった「ペン握ったままの女子学生の写真」の前で足が止まった。授業中に災難にあったのだろうか。

東日本も「震災タウン」急げ



都江堰市郊外の農村は見違えるような住宅も(出口俊一氏提供)

「四川大地震」の復興は、発生から三年余りで当初計画を達成していた。八月下旬に認定NPO法人「日本政治総合研究所」(白鳥令理事長)の視察で被災現場を訪ねた。広大な山岳地帯の崩落による二次災害の危うさの中、復興のスピード感は驚きであった。
まず、四川省都江堰市に入った。震災当時、街の八割四十五万七千人が被災した。成都市から車で約一時間、約六十キロ北西にある「震災陳列館」に寄った。震災の状況から救援、救出の艱難辛苦の様子がパネルや映像で紹介されていた。一角にあった「ペン握ったままの女子学生の写真」の前で足が止まった。授業中に災難にあったのだろうか。

「四川大地震」の復興は、発生から三年余りで当初計画を達成していた。八月下旬に認定NPO法人「日本政治総合研究所」(白鳥令理事長)の視察で被災現場を訪ねた。広大な山岳地帯の崩落による二次災害の危うさの中、復興のスピード感は驚きであった。
まず、四川省都江堰市に入った。震災当時、街の八割四十五万七千人が被災した。成都市から車で約一時間、約六十キロ北西にある「震災陳列館」に寄った。震災の状況から救援、救出の艱難辛苦の様子がパネルや映像で紹介されていた。一角にあった「ペン握ったままの女子学生の写真」の前で足が止まった。授業中に災難にあったのだろうか。

「四川大地震」の復興は、発生から三年余りで当初計画を達成していた。八月下旬に認定NPO法人「日本政治総合研究所」(白鳥令理事長)の視察で被災現場を訪ねた。広大な山岳地帯の崩落による二次災害の危うさの中、復興のスピード感は驚きであった。
まず、四川省都江堰市に入った。震災当時、街の八割四十五万七千人が被災した。成都市から車で約一時間、約六十キロ北西にある「震災陳列館」に寄った。震災の状況から救援、救出の艱難辛苦の様子がパネルや映像で紹介されていた。一角にあった「ペン握ったままの女子学生の写真」の前で足が止まった。授業中に災難にあったのだろうか。

「四川大地震」の復興は、発生から三年余りで当初計画を達成していた。八月下旬に認定NPO法人「日本政治総合研究所」(白鳥令理事長)の視察で被災現場を訪ねた。広大な山岳地帯の崩落による二次災害の危うさの中、復興のスピード感は驚きであった。
まず、四川省都江堰市に入った。震災当時、街の八割四十五万七千人が被災した。成都市から車で約一時間、約六十キロ北西にある「震災陳列館」に寄った。震災の状況から救援、救出の艱難辛苦の様子がパネルや映像で紹介されていた。一角にあった「ペン握ったままの女子学生の写真」の前で足が止まった。授業中に災難にあったのだろうか。

「四川大地震」の復興は、発生から三年余りで当初計画を達成していた。八月下旬に認定NPO法人「日本政治総合研究所」(白鳥令理事長)の視察で被災現場を訪ねた。広大な山岳地帯の崩落による二次災害の危うさの中、復興のスピード感は驚きであった。
まず、四川省都江堰市に入った。震災当時、街の八割四十五万七千人が被災した。成都市から車で約一時間、約六十キロ北西にある「震災陳列館」に寄った。震災の状況から救援、救出の艱難辛苦の様子がパネルや映像で紹介されていた。一角にあった「ペン握ったままの女子学生の写真」の前で足が止まった。授業中に災難にあったのだろうか。

「四川大地震」の復興は、発生から三年余りで当初計画を達成していた。八月下旬に認定NPO法人「日本政治総合研究所」(白鳥令理事長)の視察で被災現場を訪ねた。広大な山岳地帯の崩落による二次災害の危うさの中、復興のスピード感は驚きであった。
まず、四川省都江堰市に入った。震災当時、街の八割四十五万七千人が被災した。成都市から車で約一時間、約六十キロ北西にある「震災陳列館」に寄った。震災の状況から救援、救出の艱難辛苦の様子がパネルや映像で紹介されていた。一角にあった「ペン握ったままの女子学生の写真」の前で足が止まった。授業中に災難にあったのだろうか。

「四川大地震」の復興は、発生から三年余りで当初計画を達成していた。八月下旬に認定NPO法人「日本政治総合研究所」(白鳥令理事長)の視察で被災現場を訪ねた。広大な山岳地帯の崩落による二次災害の危うさの中、復興のスピード感は驚きであった。
まず、四川省都江堰市に入った。震災当時、街の八割四十五万七千人が被災した。成都市から車で約一時間、約六十キロ北西にある「震災陳列館」に寄った。震災の状況から救援、救出の艱難辛苦の様子がパネルや映像で紹介されていた。一角にあった「ペン握ったままの女子学生の写真」の前で足が止まった。授業中に災難にあったのだろうか。

「四川大地震」の復興は、発生から三年余りで当初計画を達成していた。八月下旬に認定NPO法人「日本政治総合研究所」(白鳥令理事長)の視察で被災現場を訪ねた。広大な山岳地帯の崩落による二次災害の危うさの中、復興のスピード感は驚きであった。
まず、四川省都江堰市に入った。震災当時、街の八割四十五万七千人が被災した。成都市から車で約一時間、約六十キロ北西にある「震災陳列館」に寄った。震災の状況から救援、救出の艱難辛苦の様子がパネルや映像で紹介されていた。一角にあった「ペン握ったままの女子学生の写真」の前で足が止まった。授業中に災難にあったのだろうか。



震災と向きあう

児童生徒が死亡し、「おから工事」に批判が集中したが、遺体捜索や実態調査が不十分なまま、急速な被災地再建が進められているという。

地震発生地付近は標高5000m級の山が連なるチベット高原から標高500m前後の四川盆地。被災範囲は日本の国土を上回る約44万平方キロに及んだ。校舎倒壊で5000人以上の

四川大地震 2008年5月12日、中国・四川省汶川縣を震源地にマグニチュード8.0の内陸直下型地震が発生。死者6万9227人、行方不明者1万7923人。

